

海事産業委員会 設置の趣旨

我が国は国土面積の約 12 倍、世界第 6 位の海域面積を誇る「海洋国家」であり、貿易量の 99%以上を海運に依存していることを鑑みれば、海事産業は国力の源である。

また、我が国は、海運、造船・船用工業など、海事関係のほとんどすべての業種が国内に揃い、多数の関係機関が集積するフルセット型の海事クラスターが形成されたことが、海事産業を支える大きな柱となるとともに、地域経済の発展に貢献してきた。

一方、近年の厳しい国際競争の中、我が国船主の船舶保有量の国際シェアは減少し、日本経済の低成長等により世界全体の荷動きにおける日本発着貨物の比率は低下している。加えて、我が国の造船業は中国・韓国との厳しい受注競争に晒され、建造量のシェアも低下しているため、地域の振興を支えてきた海事クラスターは縮小傾向にある。

このため、我が国の海事産業における競争力強化につながる取組を支援し我が国経済の発展を支えるとともに、海事クラスターを活性化させ、地域経済を再び発展させるべく、海事産業の競争力強化に資する取組等について産官学で議論する場として、新たに海事産業問題委員会を設置する。